

“緑内障”　日本人の失明原因の第1位！

緑内障という眼の病気をご存知ですか？

緑内障は眼圧の上昇等によって視神経が障害され、じわじわと見えない部分が広がっていく病気です。一度視野が欠けると二度と元には戻らないため、手遅れになる前に診断、治療を行い、進行を抑えることが大切です。

なんとこの緑内障、日本人における失明原因の第1位なんです。治療せずに放置してはなりません。しかも40歳以上の日本人の20人に1人が緑内障と推定されています。しかしながら、片方の目に見えない部分があっても、両目で見ていると生活への支障が少なく、見えない部分がかなり広がるまで視野障害に気付きません。9割の方がまだ気づいていないと考えられています。緑内障の発見には眼底検査が有効です。40歳を過ぎたら定期的に眼科の健診を受けることをお勧めします。)

緑内障と診断されたら、一般的には点眼薬による治療が基本です。緑内障を早期に発見し、点眼薬による治療を続けていれば、多くの場合失明に至ることはありません。

緑内障の治療中でも、生活の厳しい制限や注意事項はほとんどありません。点眼薬を使用し定期的に受診すること以外は、普段と変わらない生活を送ることができます。

緑内障。早期発見早期治療が大切です・・・。

■ 見え方の変化（右眼のみを示す）



多摩東部地域産業保健センター

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ 404

TEL 0422-24-6906 FAX 0422-24-6908

HP <http://www.sanpo-tama.jp/> メールアドレス sanpo@kind.ocn.ne.jp